

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン換気システムセット

V-08PDSET (居室・トイレ・洗面所用)

取付工事説明書

工事店さま用

0607874HD1601



〈パイプ用ファン〉 〈給気ユニット〉
パイプ用ファンの運転にはスイッチが必要です。
スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

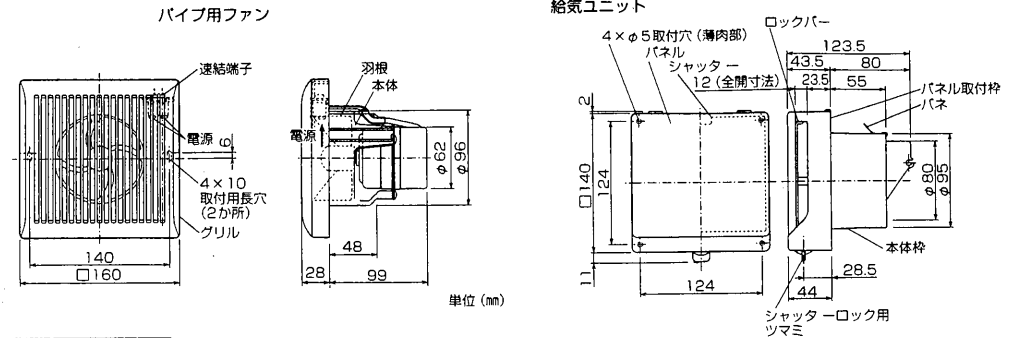
■取付工事を始める前に、必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に取付けてください。

■取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

- 電気工事は電気工事店さまに依頼してください。
- パイプ用ファンは居室・トイレ・洗面所に取付けてください。それ以外の用途では使用しないでください。故障の原因となります。
- パイプ用ファンの排気を直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- パイプ用ファンを外風の吹き付けの強い場所に取り付ける場合は風圧シャッター付深形フードを取付けることをおすすめします。（壁面汚れ、雨水浸入の原因になります。）
- パイプ用ファンの運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。
- 製品の数量は梱包箱に書かれているセット内容にてご確認ください。
- 給気ユニットは取付位置、外気の状態（大きな道路、工場等に面している）により壁汚れが発生することがあります。
- 給気ユニットは風圧シャッター付の屋外フードと組み合わせることは出来ません。給気できなくなります。
- 給気ユニットは壁取付専用です。天井には取付けしないでください。

形名	用途	品名	取付場所	電源仕様	付属部品 (1台につき)	適用パイプ
V-08PDSET	排気用	パイプ用ファン	壁・天井	速結端子	●木ネジ……………2本 ●クッション……………1本	●塩化ビニル管……VP、VU (呼び径φ100)
	給気用	給気ユニット	壁	-	●パッキン厚・薄……各1本	●鋼板管……(内径φ100)

外形寸法図



取付方法

■パイプ用ファンの取付け

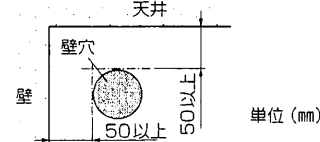
取付前の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

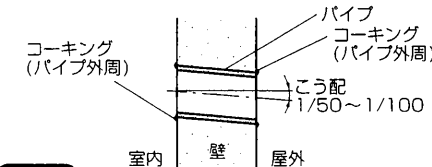
1. 取付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

- パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。



お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

クッションの巻き付け

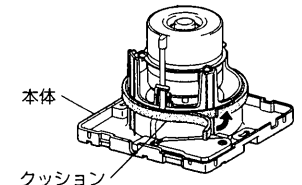
1. グリルを本体からはずす。

VP管・鋼板管の場合

付属のクッションは使用しません。

VU管の場合

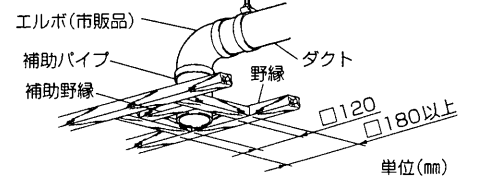
本体パイプ部クッション上に付属のクッションをかさねて巻き付ける。(右図参照)



天井付けの場合

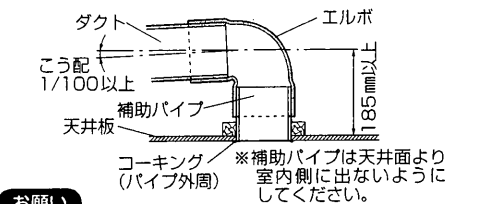
野縁工事とダクト配管

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井板のすき間はコーキング処理を施します。



お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がない時は補強材を入れてください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

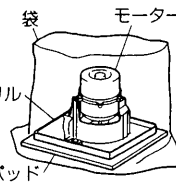
警告	注意
<p>誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p>	<p>誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p>
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や分解はしない。火災・感電・けがの原因。 ●水ぬれ禁止 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けられない。火災の原因。 ●浴室取付禁止
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する。直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう取付ける。漏電・発火の原因。 ●外気取り入れ口（給気ユニット）は「ガス機器の設置基準及び実務指針」に基づいて、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける。室内の酸欠の原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に。落下によるけがの原因。 ●部品の取付けは確実に。落下によるけがの原因。 ●配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。 ●取付けの際は手袋を着用する。着用しないとけがの原因。 ●取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。 ●電気工事は電気工事店に依頼する。感電の原因。

●お願い ●高温（40℃以上）になるところに取付けしないでください。早期故障の原因になります。

- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。振動や破損の原因になります。
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。壁厚により取付けられないものがあります。三菱システム部材との組合せに必要な壁厚については納入仕様書をご覧ください。
- パイプ用ファンを天井に取り付ける際は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 火災警報器がある場合、給気ユニットは感知部から1.5m以上、離れたところに取付けてください。

ご注意

- モーターに衝撃を加えないでください。
- パイプ用ファンを床などに直に置く場合は、袋に入れたままでグリルを下側にして置いてください。



電気工事

警告

- 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因。

注意

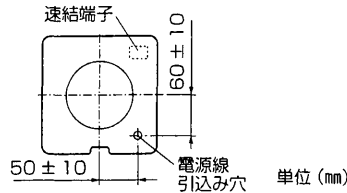
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。
- 電気工事は電気工事に依頼する
感電の原因。

■専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備の技術基準に基づいて行ってください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。

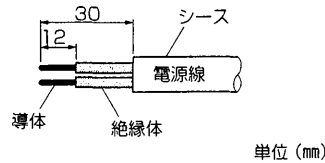
1. 電源線を下図の位置から室内に引き込む。

- 電源線はVVF φ 1.6、2芯をご使用ください。



2. 電源線の先端を下図に合わせて皮むきする。

- 端子部への水浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。

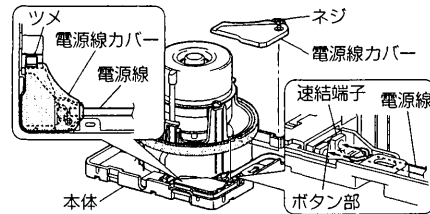


本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

1. 本体からグリルをはずす

2. 電源線を速結端子に差し込む。

- ①ネジをはずして電源線カバーをはずす。
- ②電源線を速結端子に差し込む。
- ③電源線をはさまないように電源線カバーを取付ける。



お願い

- 電源線は確実に速結端子に差し込みます。皮むき部分が端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線をはさまないように電源線カバーを取付けてください。
- ネジ穴が破損する原因となりますので、ネジを締めすぎないでください。
- 電源線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。

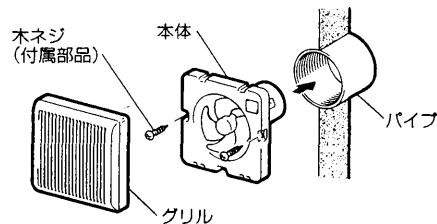
- 左右の取付穴をご使用ください。

4. グリルを本体に取付ける。

- グリルの方向を間違えないように本体にはめ込みます。

5. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

6. 試運転を行う。



取付方法

■給気ユニットの取付け

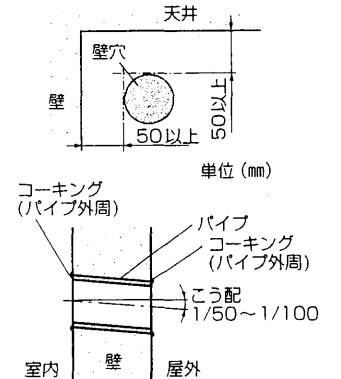
取付前の準備

給気ユニットは壁取付け専用です。

壁穴へのパイプの固定

1. 取付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- フィルターの清掃、メンテナンスが可能な位置に取付けてください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない位置を選んで設置してください。
- フィルターが設置されておりますが、小さな虫が侵入する場合がありますので、屋外側は外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプとのすき間はコーキング処理を施します。

- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りごう配をつけ、固定してください。

本体の取付け

1. 本体枠に付属のバックンを巻き付けパイプに差し込む。

- パイプに合わせてバックンを巻き付けます。(本体はバネにより固定されます。)

VP管・鋼板管の場合

付属バックン(薄)を1本巻き付けます。

VU管の場合

付属バックンを2本重ねて巻き付けます。

- バネの先端は鋭利になっています。けが防止のため、保護ダンボールは取付ける直前にはずしてください。

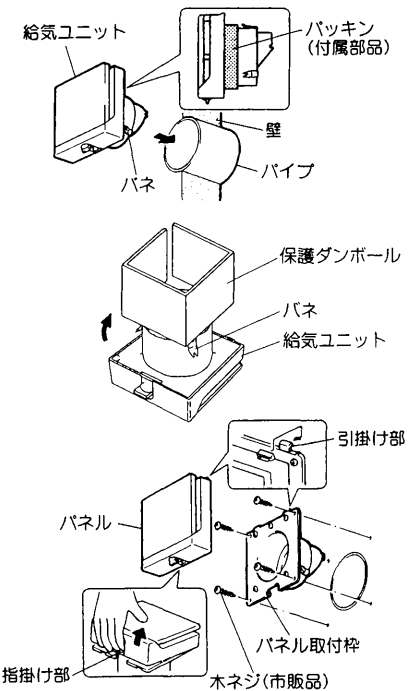
バネだけで確実に固定できない場合

1. パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いてパネルをはずす。

2. 図のように、パネル取付枠の薄肉部を市販の木ネジ(4本)で壁に確実に固定する。

3. パネルを、パネル取付枠上側の引掛け部に確実に引掛けて取付ける。

- ダクト先端には、条件に合った屋外フード部材の取付けをおすすめします。
(風雨が強く下側から吹き上げがある場合…
…耐風高性能フード)
(外の騒音が大きい地域または場所…防音フード)
- 取付けに必要な壁厚については納入仕様書をご覧ください。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。